

2020年度実施方針

イノベーション推進部

1. 件 名：ムーンショット型研究開発事業

2. 根拠法

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構法第十五条第2号

3. 背景及び目的

今日、我が国は多くの困難な課題を抱える中、それら課題解決に科学技術が果敢に挑戦し、未来社会の展望を切り拓いていくことが求められている。

我が国では、将来の産業・社会の変革（破壊的イノベーション創出）の可能性を秘めた、独創的な研究成果が基礎研究領域から多数生み出されている。しかしながら、それらをスピード感を持って産業・社会に実装化し、グローバルに展開していくための研究開発システムは未完成の状況である。

欧米や中国では、破壊的イノベーションの創出を目指し、これまでの延長では想像もつかないような野心的な構想や困難な社会課題の解決を掲げ、我が国とは桁違いの投資規模でハイリスク・ハイインパクトな挑戦的研究開発を強力に推進している。

こうした情勢を踏まえ、総合科学技術・イノベーション会議（以下「CSTI」という。）において、我が国発の破壊的イノベーションの創出を目指し、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発（ムーンショット）を推進することが決定された。本事業は、

- 1) 未来社会を展望し、困難だが実現すれば大きなインパクトが期待される社会課題等を対象として、人々を魅了する野心的な目標（以下「ムーンショット目標（MS 目標）」という。）及び構想を掲げ、最先端研究をリードするトップ研究者等の指揮の下、世界中から研究者の英知を結集し、目標の実現を目指すこと
- 2) また、基礎研究段階にある様々な知見やアイデアが驚異的なスピードで産業・社会に応用され、今日、様々な分野において破壊的なイノベーションが生

み出されつつある状況に鑑み、我が国の基礎研究力を最大限に引き出す挑戦的研究開発を積極的に推進し、失敗も許容しながら革新的な研究成果を発掘・育成に導くこと

- 3) その際のマネジメントの方法についても、進化する世界の研究開発動向を常に意識しながら、関係する研究開発全体を俯瞰して体制や内容を柔軟に見直すことができる形に刷新するとともに、最先端の研究支援システムを構築すること。また、研究成果を円滑に社会実装する観点から、多様な人々との対話の場を設けるとともに、倫理的・法制度的・社会的課題について人文社会科学を含む様々な分野の研究者が参画できるような体制を構築すること。さらに、将来の事業化を見据え、オープン・クローズ戦略の徹底を図ること

等を旨とし、司令塔たる CSTI 及び健康・医療戦略推進本部の下、関係府省が一体となって推進する。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」という。)は、当該研究開発に係る業務を行う研究推進法人として、基金を設置し、基本計画に基づき事業を推進する。実施にあたっては、「ムーンショット型研究開発制度の基本的考え方について」(平成30年12月20日 CSTI 決定)及び「ムーンショット型研究開発制度の運用・評価指針」に基づき実施する。

4. 事業内容

4. 1 事業概要

本事業は、CSTI が決定する MS 目標及び経済産業省が策定する研究開発構想を踏まえ、NEDO は公募により研究開発をマネジメントするプロジェクトマネージャー(以下「PM」という。)及び研究開発実施者を選定し、研究開発を実施する。また、MS 目標達成に向けて、国内外の研究開発動向や研究開発成果の社会実装に向けた課題等に関する情報を収集・分析調査する。

4. 2 事業方針

(1) 対象事業者

PM の国籍は問わないが、国内に拠点を置くことを基本とする。研究開発実施者は、国内外の企業や大学等の研究機関等(以下「団体」という。)とし、MS 目標及び研究開発構想を達成するための最適な研究開発体制として、複数で研究開発に参加するものとする。国外の団体については、別に定める条件に基づき参加するものとする。

(2) 対象研究開発プロジェクト

CSTI が決定する MS 目標及び経済産業省が策定する研究開発構想の達成を目指すものであること。

(3) 審査項目

以下の点に留意して審査を行う。詳細は公募要領で定める。

① PM

- ・最先端の研究開発を推進するため、国内外の関連する研究者等の幅広い人的なネットワークや専門的な知識を有すること
- ・最適な研究開発体制を構築し、進捗状況等に応じて機動的に体制を見直す等のマネジメント力、リーダーシップ力を有すること

② 開発内容・体制

- ・提案内容が MS 目標、研究開発構想に合致しているか（不必要な部分はないか）
- ・提案された方法に新規性があり、技術的に優れているか
- ・提案各者の内容が相互補完的である等、効率的かつ効果的な体制となっているか
- ・提案内容・研究計画は実現可能か（技術的可能性、計画、中間目標の妥当性等）
- ・応募者は本研究開発を遂行するための高い能力を有するか（関連分野の開発等の実績、再委託予定先等を含めた実施体制、優秀な研究者等の参加等）。
- ・応募者が当該研究開発を行うことにより国民生活や経済社会への波及効果は期待できるか

5. 事業の実施方式

5.1 実施スキーム（別紙1参照）

5.2 公募

(1) 掲載する媒体

「NEDO ホームページ」及び「e-Rad ポータルサイト」で行う。

(2) 公募時期・公募回数

2020年2月に1回行う。なお、必要に応じて追加公募を行う。

(3) 公募期間

60日間とする。

(4) 公募説明会

川崎、大阪の他、他都市でも実施する。

5.3 採択方法

(1) 審査方法

e-Rad システムへの応募基本情報の登録は必須とする。

プログラムディレクター（以下「PD」という。）及び外部有識者による事前書面審査・採択審査委員会を経て、契約・助成審査委員会により決定する。

なお、NEDO内関係部との連携の下、採択案件の選定を行う。

採択審査委員は採択結果公表時に公表する。

(2) 公募締切から採択決定までの審査等の期間

75日間とする。

(3) 採択結果の通知

採択結果については、NEDO から申請者に通知する。なお、不採択の場合は、その明確な理由を添えて通知する。

(4) 採択結果の公表

採択案件については、申請者の名称、研究開発テーマの名称・概要を公表する。

5.4 評価に関する事項

NEDO は「ムーンショット型研究開発制度の運用・評価指針」及び「技術評価実施規程」に基づき、外部評価及び自己評価を行う。

6. その他重要項目

6.1 複数年度契約の実施

採択結果に応じ、最大で中間評価までの3年間の複数年度契約を行う。

6.2 その他

(1) 知財マネジメントに係る運用

本プロジェクトは「NEDOムーンショット型研究開発事業における知財マネジメント基本方針」を適用する。

(2) データマネジメントに係る運用

本事業は、「NEDOムーンショット型研究開発事業におけるデータマネジメント基本方針」を適用する。また、PD及びPMは、研究者間の情報交換や研究データの保存・共有・公開を促すなどの先進的なデータマネジメントを推進する。

7. スケジュール

7.1 本年度のスケジュール

- 2020年2月中旬 公募開始
- 2020年2月～ 公募説明会の開催
- 2020年4月中旬 公募締切
- 2020年7月初旬 採択決定

8. 実施方針の改定履歴

- (1)2020年2月 制定

